

川崎重工業株式会社

広報部【東京】Tel. (03) 3435-2130 【神戸】Tel. (078) 371-9531 www.khi.co.jp

NO. 2012035

2012年7月31日

平成25年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

川崎重工は、平成25年3月期 第1四半期決算（平成24年4月1日～平成24年6月30日）について、つぎのとおりお知らせします。

連結決算

(単位 億円)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成24年3月期 第1四半期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成25年3月期 第1四半期)	(参考) 前連結会計年度 (平成24年3月期)
受注高	2,511	2,715	13,118
売上高	2,915	2,835	13,037
営業利益	123	67	574
経常利益	146	117	636
税金等調整前四半期(当期)純利益	141	117	487
四半期(当期)純利益	95	60	233
1株当たり四半期(当期)純利益	5.72 円	3.60 円	13.95 円
総資産	13,125	13,742	13,621
純資産	3,025	3,158	3,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 102	79	847
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 148	△ 306	△ 659
フリーキャッシュ・フロー	△ 251	△ 226	187
財務活動によるキャッシュ・フロー	111	226	△ 268



平成25年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成24年7月31日

上場会社名 川崎重工業株式会社 上場取引所 東大名
コード番号 7012 (URL <http://www.khi.co.jp/>)
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 聡
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松原 秀幸 TEL (03) 3435 - 2130
四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績 (平成24年4月1日 ~ 平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	283,530	△2.7	6,741	△45.5	11,727	△20.0	6,030	△36.9
24年3月期第1四半期	291,579	5.1	12,373	6.1	14,669	28.8	9,558	62.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 8,886百万円 (△19.4%) 24年3月期第1四半期 11,036百万円 (153.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.60	-
24年3月期第1四半期	5.72	5.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,374,217	315,812	22.2
24年3月期	1,362,139	315,922	22.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 305,434百万円 24年3月期 306,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	620,000	5.9	20,000	△24.8	24,000	△11.8	14,000	△21.4	8.37
通 期	1,380,000	5.8	52,000	△9.5	56,000	△11.9	34,000	45.7	20.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	1,671,892,659株	24年3月期	1,671,892,659株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	79,451株	24年3月期	77,126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	1,671,813,479株	24年3月期1Q	1,670,759,373株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想と異なる結果となることがあります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成24年7月31日(火)に、カンファレンスコール（電話会議）による機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算説明資料につきましては、決算発表と同時にT D n e t 及び当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
(1) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(2) 受注及び販売の状況	10
(3) 地域別売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における世界経済は、中国経済の成長に一服感が見られるものの、経済成長の流れはインド・ブラジル・東南アジア諸国などに拡がっており、全体としては穏やかに成長基調を続けています。しかし、先進国については、米国において雇用情勢に改善の兆しが見られるものの、欧州債務国問題は長期化する様相を呈しており、景気の下振れリスクが高まっています。

また、国内経済は、東日本大震災の復興需要が本格化しつつありますが、円高の長期化や電力供給不安とともに、欧州債務国問題に起因する世界経済の下振れといった不安要素を抱えています。一方、将来のエネルギーのあり方に対する関心が高まるなかで、様々な基幹インフラを手掛ける当社グループが果たすべき社会的な役割は、ますます大きなものとなってきています。

このような経営環境の中で、当第1四半期における当社グループの各事業は、多くの事業において前年同期と比べて減収ないしは減益となり、全体としても減収減益となりました。受注面においては、プラント・環境事業、船舶海洋事業や航空宇宙事業などでの受注増が、精密機械事業などにおける減少をカバーし、全体では増加となりました。また、売上では航空宇宙事業などが増収となりましたが、主に欧州と中国経済の減速の影響によるモーターサイクル&エンジン事業、船舶海洋事業、精密機械事業などの減収が大きく、全体では減収となりました。損益面でも、増収となった航空宇宙事業などが増益となったものの、精密機械事業や船舶海洋事業などの減益によって、全体では減益となりました。

この結果、当社グループの連結受注高は前年同期比203億円増の2,715億円、連結売上高は前年同期比80億円減収の2,835億円、営業利益は前年同期比56億円減益の67億円、経常利益は前年同期比29億円減益の117億円、四半期純利益は前年同期比35億円減益の60億円となりました。

当第1四半期連結累計期間の連結セグメント別業績の概要は以下のとおりです。

(単位：億円)

報告セグメント	前第1四半期 連結累計期間 (23年6月期)		当第1四半期 連結累計期間 (24年6月期)		(参考) 受注高	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	前第1四半期	当第1四半期
					連結累計期間 (23年6月期)	連結累計期間 (24年6月期)
船舶海洋	277	9	227	△6	170	303
車両	258	0	288	1	226	253
航空宇宙	400	△8	496	8	306	344
ガスタービン・機械	455	33	453	26	313	325
プラント・環境	238	9	198	1	191	371
モーターサイクル &エンジン	596	3	534	△3	596	534
精密機械	404	71	361	39	434	286
その他	284	9	276	5	272	296
調整額	—	△5	—	△7	—	—
合計	2,915	123	2,835	67	2,511	2,715

(注) 売上高は、外部顧客に対する売上高。

船舶海洋事業

連結受注高は、LNG運搬船など3隻を受注し、前年同期から133億円増の303億円と大幅に増加しました。

連結売上高は、ハンディマックスサイズのばら積み船の建造量が増加した一方、ケーブサイズのばら積み運搬船を中心に建造量が減少し、前年同期に比べ50億円減収の227億円となりました。

営業損益は、売上高の減少に加えて採算の厳しい案件の売上計上や操業の低下による影響などにより、前年同期に比べ15億円悪化し、6億円の営業損失となりました。

車両事業

連結受注高は、台湾向け高速鉄道車両の受注などにより、前年同期に比べ27億円増の253億円となりました。

連結売上高は、JR各社向けの増加により国内向けの売上が増加したことや、海外向けでは、アジア向けが減少する一方で北米向けが増加したことで海外向け全体が前年並みとなったことなどにより、前年同期比29億円増収の288億円となりました。

営業利益は、前年同期並みの1億円となりました。

航空宇宙事業

連結受注高は、防衛省向けやボーイング社向け777・787航空機分担製造品の受注が増加したことなどにより、前年同期比38億円増の344億円となりました。

連結売上高は、P-1固定翼哨戒機の工事の進捗などによって防衛省向けが増加したことに加えて、ボーイング社向け787航空機分担製造品が増加したことおよび777航空機分担製造品も引き続き好調であったことなどにより、前年同期比95億円増収の496億円と大幅な増収になりました。

営業損益は、売上の増加やコスト削減などにより、前年同期から17億円改善し、8億円の営業利益となりました。

ガスタービン・機械事業

連結受注高は、航空機用エンジン分担製造品の増加などにより、前年同期比11億円増の325億円となりました。

連結売上高は、陸用タービン設備などが減少したものの、航空機用エンジン分担製造品や産業用ガスタービンの増加により、前年同期並みの453億円となりました。

営業利益は、円高の影響や研究開発費の増加などにより、前年同期比7億円減益の26億円となりました。

プラント・環境事業

連結受注高は、イクシスLNGプロジェクト向け低温タンクなどを受注し、前年同期比180億円増の371億円と大幅に増加しました。

連結売上高は、LNG貯槽案件が引き続き高水準で推移するとともに、搬送設備・ごみ焼却プラントなどで増加したものの、海外向け大型案件が減少したことにより、前年同期から39億円減収の198億円となりました。

営業利益は、売上の減少ならびに利益率の低下により、前年同期比8億円減益の1億円となりました。

モーターサイクル&エンジン事業

連結売上高は、インドネシア・ブラジルなどを中心とする新興国向け二輪車の増加があったものの、先進国市場の回復が遅れ、特に欧州において大幅に減少したことにより、前年同期比61億円減収の534億円となりました。

営業損益は、売上の減少などにより、前年同期比7億円悪化し、3億円の営業損失となりました。

精密機械事業

連結受注高は、新興国建機市場向け油圧機器が大きく減少し、前年同期比148億円減の286億円と大幅に減少しました。

連結売上高は、中国向けを中心とする新興国建機市場向け油圧機器の減少や、半導体製造装置用を中心とする産業用ロボットの減少などにより、前年同期比43億円減収の361億円となりました。

営業利益は、売上の減少に加え、設備投資や人員増加などに伴う固定費の増加などにより、前年同期比31億円減益の39億円となりました。

その他事業

連結売上高は、前年同期比8億円減収の276億円となりました。

営業利益は、前年同期比3億円減益の5億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少した一方で、手持ち工事の進捗に伴う棚卸資産の増加や大連中遠川崎船舶工程有限公司への出資などにより、前期末比120億円増の1兆3,742億円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少があったものの、短期借入金や前受金などが増加したことにより前期末比121億円増の1兆584億円となりました。有利子負債は前期末比278億円増の4,350億円となりました。純資産は、配当金の支払や四半期純利益の計上等により前期末比1億円減の3,158億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年度の業績見通しにつきましては、前回(4月26日)公表値を据え置きます。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1ドル=80円、1ユーロ=100円を前提としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算している。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示している。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更している。

なお、これによる損益に与える影響は軽微である。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,316	33,439
受取手形及び売掛金	404,054	371,389
商品及び製品	53,558	53,540
仕掛品	300,224	320,798
原材料及び貯蔵品	88,113	86,074
その他	90,174	93,384
貸倒引当金	△3,255	△3,174
流動資産合計	967,186	955,452
固定資産		
有形固定資産	274,750	279,221
無形固定資産		
のれん	300	215
その他	18,485	18,507
無形固定資産合計	18,786	18,723
投資その他の資産		
その他	102,356	121,723
貸倒引当金	△940	△901
投資その他の資産合計	101,416	120,821
固定資産合計	394,953	418,765
資産合計	1,362,139	1,374,217
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	310,775	286,779
短期借入金	137,568	158,685
未払法人税等	4,627	3,996
賞与引当金	20,582	22,983
受注工事損失引当金	30,977	29,122
その他の引当金	7,128	6,343
前受金	99,050	119,097
その他	85,291	82,104
流動負債合計	696,002	709,112
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	198,737	196,374
退職給付引当金	75,052	73,917
その他の引当金	4,192	3,904
その他	12,232	15,096
固定負債合計	350,214	349,293
負債合計	1,046,216	1,058,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	104,484	104,484
資本剰余金	54,393	54,393
利益剰余金	176,414	173,881
自己株式	△22	△23
株主資本合計	335,270	332,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,989	2,808
繰延ヘッジ損益	246	1,900
為替換算調整勘定	△33,451	△32,010
その他の包括利益累計額合計	△29,215	△27,302
少数株主持分	9,868	10,377
純資産合計	315,922	315,812
負債純資産合計	1,362,139	1,374,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	291,579	283,530
売上原価	244,360	240,094
売上総利益	47,218	43,435
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	9,668	9,970
研究開発費	7,009	8,190
貸倒引当金繰入額	195	8
その他	17,971	18,524
販売費及び一般管理費合計	34,844	36,693
営業利益	12,373	6,741
営業外収益		
受取利息	367	419
受取配当金	321	264
持分法による投資利益	2,098	2,296
為替差益	313	2,658
その他	1,218	1,068
営業外収益合計	4,318	6,707
営業外費用		
支払利息	1,104	1,017
有価証券評価損	7	18
その他	910	686
営業外費用合計	2,022	1,722
経常利益	14,669	11,727
特別損失		
減損損失	564	—
特別損失合計	564	—
税金等調整前四半期純利益	14,104	11,727
法人税等	3,946	5,100
少数株主損益調整前四半期純利益	10,158	6,626
少数株主利益	599	595
四半期純利益	9,558	6,030

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,158	6,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△251	△1,203
繰延ヘッジ損益	614	1,653
為替換算調整勘定	△488	340
持分法適用会社に対する持分相当額	1,003	1,469
その他の包括利益合計	878	2,260
四半期包括利益	11,036	8,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,235	7,944
少数株主に係る四半期包括利益	801	942

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	船舶海洋 事業	車両事業	航空宇宙 事業	ガスター ビン・ 機械事業	プラント ・環境 事業	モーター サイクル &エンジ ン事業	精密機械 事業	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高											
(1) 外部顧客への 売上高	27,751	25,878	40,029	45,569	23,825	59,611	40,481	28,432	291,579	—	291,579
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	101	63	442	3,896	1,919	209	3,219	7,670	17,522	△17,522	—
計	27,853	25,941	40,471	49,466	25,744	59,820	43,700	36,102	309,101	△17,522	291,579
セグメント利益 又は損失(△)	950	48	△898	3,386	999	353	7,125	922	12,889	△515	12,373

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	47
全社費用(注)	△563
合計	△515

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	船舶海洋 事業	車両事業	航空宇宙 事業	ガスター ビン・ 機械事業	プラント ・環境 事業	モーター サイクル &エンジ ン事業	精密機械 事業	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高											
(1) 外部顧客への 売上高	22,712	28,830	49,614	45,387	19,840	53,430	36,101	27,613	283,530	—	283,530
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	290	105	708	3,756	3,079	162	2,763	7,959	18,825	△18,825	—
計	23,003	28,935	50,322	49,143	22,920	53,592	38,864	35,573	302,355	△18,825	283,530
セグメント利益 又は損失(△)	△644	146	889	2,676	197	△347	3,992	554	7,466	△724	6,741

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(単位：百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	72
全社費用 (注)	△797
合計	△724

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,239	7,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,869	△30,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,189	22,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,538	32,490

(2) 受注及び販売の状況

<受注高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	17,003	6.7	30,345	11.1	39,909	3.0
車両	22,646	9.0	25,350	9.3	66,099	5.0
航空宇宙	30,610	12.1	34,434	12.6	327,233	24.9
ガスタービン・機械	31,377	12.4	32,531	11.9	227,281	17.3
プラント・環境	19,143	7.6	37,186	13.6	119,284	9.0
モーターサイクル&エンジン	59,611	23.7	53,430	19.6	235,243	17.9
精密機械	43,490	17.3	28,606	10.5	174,587	13.3
その他	27,297	10.8	29,673	10.9	122,239	9.3
合計	251,181	100.0	271,557	100.0	1,311,878	100.0

(注) モーターサイクル&エンジン事業については、主として見込み生産を行っていることから、受注高について売上高と同額として表示している。

<売上高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	27,751	9.5	22,712	8.0	113,532	8.7
車両	25,878	8.8	28,830	10.1	132,684	10.1
航空宇宙	40,029	13.7	49,614	17.4	206,580	15.8
ガスタービン・機械	45,569	15.6	45,387	16.0	194,655	14.9
プラント・環境	23,825	8.1	19,840	6.9	122,800	9.4
モーターサイクル&エンジン	59,611	20.4	53,430	18.8	235,243	18.0
精密機械	40,481	13.8	36,101	12.7	175,077	13.4
その他	28,432	9.7	27,613	9.7	123,205	9.4
合 計	291,579	100.0	283,530	100.0	1,303,778	100.0

<受注残高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成24年6月30日)		前第1四半期 連結会計期間末 (平成23年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	102,870	6.8	109,070	7.5	165,306	11.4
車両	345,170	23.1	329,214	22.7	412,178	28.4
航空宇宙	386,376	25.8	368,469	25.4	257,654	17.7
ガスタービン・機械	409,819	27.4	386,963	26.7	360,192	24.8
プラント・環境	181,698	12.1	189,747	13.1	180,677	12.4
モーターサイクル&エンジン	—	—	—	—	—	—
精密機械	42,300	2.8	34,805	2.4	45,800	3.1
その他	25,879	1.7	27,936	1.9	25,709	1.7
合 計	1,494,116	100.0	1,446,207	100.0	1,447,519	100.0

(3) 地域別売上高

前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
117,989	55,427	33,279	53,583	31,299	291,579
40.4%	19.0%	11.4%	18.3%	10.7%	100.0%

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
133,519	58,545	21,595	44,946	24,923	283,530
47.0%	20.6%	7.6%	15.8%	8.7%	100.0%